

2027年1月20日(水)、21(木) 徳島開催 (ハイブリッド)

変革リーダーが集う、本音で語る、
真の課題を見つけ出す

自治体DXフォーラム2027 in 四国



第8回 自治体DXフォーラム2027 in 四国

日経BP

日経BP ガバメントテクノロジー
NIKKEI BP Government Technology

2026年8月
Ver.1.1

企画趣旨

リーダーが本音で討論、今こそ行政発の社会変革を

2027年は生成AIやAGIなど最新技術の進化により、社会のデジタル活用が一段と進展しそうです。デジタル変革の「新たな」牽引役として期待が集まるのは、各地域の行政機関とその関係者です。地域の社会課題にきめ細かく対応し、さらに年齢問わず誰もがその利便性を享受できるような、オープンで公平な社会の構築には、地域を支える行政機関の関与が不可欠だからです。現場視点での改革意欲を強く持つ地方自治体の現場リーダーが改革の旗を振り、所属の枠組みを越えて連携し、企業や学術機関を巻き込み、住民など関係者をまとめ上げ、様々な課題に立ち向かっていくことが、いま求められています。

そこで日経BPは、課題解決に挑む行政リーダー方々のチャレンジを支援・後押しする目的で、8回目となる「自治体DXフォーラム2027 in 四国」を開催します。原課など最前線で奮闘する方々を全国から招き、本音で語り合い、課題解決の現実解を導きます。



開催概要

- ▶ 名称：変革リーダーが集う、本音で語る、真の課題を見つけ出す
自治体DXフォーラム2027 in 四国
- ▶ 主催：日経BPガバメントテクノロジー
- ▶ 協力：日経BP 総合研究所
- ▶ 後援：デジタル庁、総務省など調整中
- ▶ 日程：2027年1月20日（水）、21日（木）の2日間開催
- ▶ 形式：セミナー会場でのリアル開催＋オンライン配信によるハイブリッド方式
- ▶ 内容：自治体DXをテーマに、企画委員会による議論を経て決定
※企画委員会はP12参照
- ▶ 協賛：複数社
- ▶ 想定参加者：首長や原課の改革責任者、リーダー、CDO・DX推進者など
自治体関係者限定
- ▶ 想定人数：リアル会場への参加100名程度＋オンライン参加100名程度想定
- ▶ 会場：徳島グランヴィリオホテル
徳島県徳島市万代町3-5-1

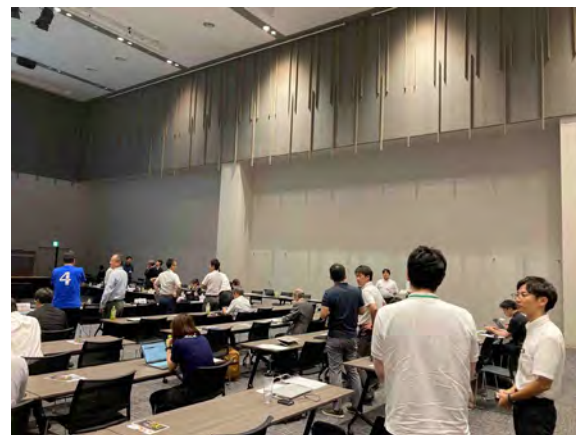
こんな狙いを持つ/課題を抱える企業に最適です

- 社会課題解決型の新たなDXサービスを開発したい
- 自治体と一緒に新たなDXを仕掛けたい
- 行政の現場でDXを率いるキーパーソンとつながりたい
- 自社サービスと市場ニーズとのミスマッチを知りたい
- 自社ソリューションの強化に向けたヒントを得たい



自治体DXフォーラムご協賛メリット

- 自治体が抱える真のニーズがわかる、本音が聞ける
- 自社サービスとのギャップがつかめる
- 課題解決に役立つ、真のソリューション開発につながる
- 現場で変革を推進する、リーダーと出会える



自治体DX フォーラム企画委員からのメッセージ

○徳島県政策監（CDO）上田 紘嗣氏

「参加される自治体の皆さんと、オープンにはなかなか言えない本音での意見交換ができ、課題として設定される前の問題意識やモヤモヤ感から共有できるとともに、住民の皆さん・自治体の実務に即した視点を得られる貴重な場だと考えています。

フォーラム本番の発表、意見交換、ネットワーキングも楽しみですが、企画委員会ではさらに未整理の生々しい議論が飛び交う大変刺激的な場だったりします。毎回大量にメモをとって、政策立案に活かしています。」



○福島県西会津町CDO (最高デジタル責任者) 藤井 靖史氏

DXにおいてX（変革）が大事だと言われ始めるきっかけはこのDXフォーラムであったと記憶しております。歴史の転換期において自治体職員に求められる能力がおおきく変化しています。

ファシリテーション力、プロジェクトマネジメント力、マーケティング力といった人材育成分野だけではなく、人事評価制度といった根本的な領域について多くの仲間と議論できることが非常にありがたいです。



会場イメージ

90～120名程度の自治体DXキーパーソンが、クローズドな場で活発な議論を展開します。



※自治体関係者限定のオンライン視聴も交えたハイブリッド方式で開催します

講演



パネルディスカッション



懇親会



テーブルトップ展示



前回プログラム(2026年7月広島開催)

Day1

Day1 プログラムスケジュール		
12:30-		開場
12:55-13:00	5min.	開会挨拶、自治体DXフォーラムの趣旨について
13:00-13:30	30min.	【基調講演】首長講演 広島市 松井 一實 市長
13:40-14:50	70min.	【講演 & 討論】 ①持続可能な観光施策
		プレゼンテーション：広島県廿日市市、北海道美瑛町
		パネルディスカッション & QA
14:50-15:10	20min.	休憩
15:20-15:40	20min.	協賛社講演 DeepL ジャパン
15:50-16:10	20min.	協賛社講演 ZVC JAPAN
16:20-17:30	70min.	【講演 & 討論】 ②DX人材とAI活用
		プレゼンテーション：広島市、愛媛県宇和島市、愛媛県
		パネルディスカッション & QA
17:30-19:00	90min.	懇親会(会場参加者のみ)

前回プログラム(2026年7月広島開催)

Day2

Day2 プログラムスケジュール		
9:15-		開場
9:30-10:10	40min.	【Special Session】 徳島県
10:15-11:15	60min.	【講演 & 討論】 ③産業振興/中小企業と地場産業支援
		プレゼンテーション：浜松市、北海道北広島市
		パネルディスカッション&QA
11:25-11:45	20min.	協賛社講演 川口弘行合同会社
11:55-12:15	20min.	協賛社講演 NTTデータ グローバルソリューションズ
12:25-12:35	10min.	協賛社講演 サイボウズ
12:35-13:20	45min.	昼食 情報交換会
13:20-14:30	70min.	【講演 & 討論】 ④BPR/AI改革
		プレゼンテーション：山口市、広島県東広島市、大阪府枚方市
		パネルディスカッション&QA
14:30-14:35	5min.	総括 & 閉会挨拶

次回プログラム案

○DX/デジタル基盤と情報保護

- ・コード・フォー・ジャパン取り組みなど

○地域経済・産業振興

- ・フィジカルAI関連の産業振興推進
- ・バッテリーバレー構想、地域産業クラスター計画

○デジタル/変革人材

- ・四国内の先進事例など

○窓口BPR/業務改革

- ・チェンジマネジメントなど

※各テーマは調整中、変更の可能性あり

企画委員会

先進自治体の「挑戦者」を中心とした企画委員会を設置。テーマや内容について事前段階から検討を進め、より質の高い議論ができるような枠組みを用意します。開催前から企画委員とのネットワーク構築も可能です。

- 目 的 先進自治体の知見を活用し、議論の質を高めるために情報共有や論点のすりあわせをする
- 役 割 会議の基本方針、方向性、ビジョンの策定・共有 ほか
- 構成人数 20～30名程度
- 開催頻度 年に2～3回リアル実施を想定、次回は2026年11月19日(木)に徳島で開催予定
- メンバー
(順不同)

仙台市	まちづくり政策局 デジタル戦略推進担当局長
山形市	副市長
北見市	総務部 人材育成主幹
高松市	都市整備局河港課主幹 兼 都市整備局河港課水路対策調整室長
長崎市	情報政策推進部DX推進課 課長
会津若松市	企画政策部情報戦略課 課長
本宮市	財務部 財政課 デジタル推進係 係長
宇和島市	企画政策部企画課企画係 係長
神戸市	企画調整局調整課 課長
広島市	情報政策課 課長
石狩市	企画経済部 企業連携推進課長
帯広市	戸籍住民課 窓口DX副主幹
目黒区	企画経営課 データ活用推進担当係長
墨田区	企画経営室 ICT推進担当 主査
西会津町	CDO (最高デジタル責任者)
上士幌町	デジタル推進課 課長
東川町	適疎推進課適疎推進室主任
北海道	デジタルトランスフォーメーション推進課長
福井県	未来創造部・DX推進監 (CDO)
徳島県	副知事
佐賀県	県土整備部副部長
長崎県	企画部デジタル戦略課 課長

新協賛パッケージ

協賛メニュー		カテゴリー			
		特別協賛	プラチナ協賛3社	ゴールド協賛4社	シルバー協賛5社
		6,000,000	4,500,000	2,500,000	1,000,000
フォーラム	プレミアムセッション登壇 単独講演	●(30分)	●(20分)	●(10分)	
	ディスカッションへの参加	●(2名)	●1名+聴講1名	●(1名)	▲聴講のみ1名
	幕間での貴社動画(max 1min.)放映	●	●		
	懇親会・情報交換会への参加	●(2名)	●(1名)	●(1名)	●(1名)
	オンライン登録者のリード提供	●	●	●	
企画委員会	企画委員会への参加(懇親会も同日実施)	●(1名)	●(1名)		
メディア掲載	告知(WEBサイト)での社名掲載	●	●	●	●
	ガバメントテクノロジーSpecialレビュー特集への記事広告掲載(別途取材し作成) ※1	●(2P相当)	●(1P相当)	●(1P相当)	
	日経BPガバメントテクノロジー27年3月売※2	ガバテクSpecial流用	ガバテクSpecial流用	ガバテクSpecial流用	
	各レビュー特集に社名掲載	●	●	●	●

※1：各種誘導は「自治体DXフォーラム」レビュー特集TOPページのみとなります。

※2：日経BPガバメントテクノロジー2027年3月末売号は日経コンピュータに同梱され、通常の発行部数に加えて自治体の関連部門に5000部追加発送します。

2027年1月、7月 連続協賛特別セット料金

○特別協賛：600万円+600万円 計1,200万円→**1,000万円**

○プラチナ：450万円+450万円 計900万円→**800万円**

○ゴールド：250万円+250万円 計500万円→**450万円**

※異なる協賛プランを組み合わせる場合はご相談ください。

※各回ごと半額分ご請求となります。また仮に1月分ご請求後7月分キャンセル時は定価との差額を遡ってお支払いいただきます。

レビュー特集

- ✓ 日経BPガバメントテクノロジーSpecialレビュー特集には、主催講演の概要とともに、協賛社の記事広告(別途取材し制作)を掲載いたします。
- ✓ 日経BPガバメントテクノロジーでもレビュー特集を掲載。

日経BPガバメントテクノロジーSpecial
レビューサイトイメージ



雑誌
掲載イメージ

自治体DXフォーラム広告特集を設け、
記事広告を掲載。



スケジュール

2026年11月初旬	ご協賛申込締切
2026年11月19日	企画委員会開催(徳島市内)
2026年11月下旬～	告知・集客開始予定(自治体関係者限定)
2027年1月20～21日	フォーラム開催(徳島市内)
2027年3月下旬以降	フォーラム速報記事、レビュー特集掲載

* 上記スケジュールは変更になる可能性があります。予めご了承ください。

お問い合わせは
日経BP
アカウントビジネス3部
今原秀一
imahara@nikkeibp.co.jp

2026年7月広島開催報告

- ▶名称：自治体DXフォーラム2024 Summer
- ▶主催：日経BPガバメントテクノロジー
- ▶協力：日経BP 総合研究所
- ▶後援：デジタル庁、総務省
- ▶日程：2026年7月7日（火）～8日（水）
- ▶形式：セミナー会場でのリアル開催＋オンライン配信によるハイブリッド方式
- ▶会場：NTTクレドホール(広島市内市)
- ▶協賛：川口弘行合同会社、ZVC JAPAN(Zoom)、DeepLジャパン
NTTデータ グローバルソリューションズ、サイボウズ（順不同）
- ▶事前登録数：会場登録：95名（84団体）オンライン登録：62名（55団体）
- ▶来場者数：92名（82団体） Day1：88名（80団体） / Day2：82名（75団体）
- ▶視聴者数：46名（40団体） Day1：35名（29団体） / Day2：41名（33団体）

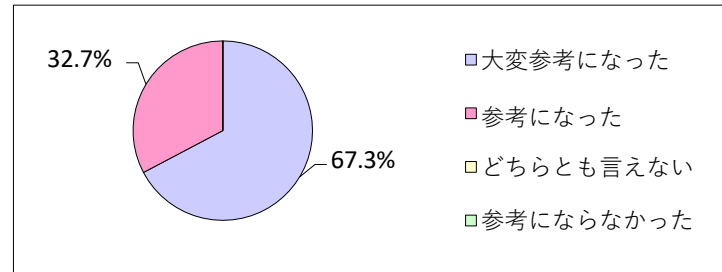
前回開催報告 (主催者アンケートより)

▶満足度5回連続100%(Day1)

フォーラム全体の満足度Day1(7月7日)

	件数	%
大変参考になった	37	67.3%
参考になった	18	32.7%
どちらとも言えない	0	0.0%
参考にならなかった	0	0.0%
合計	55	

(N= 55)

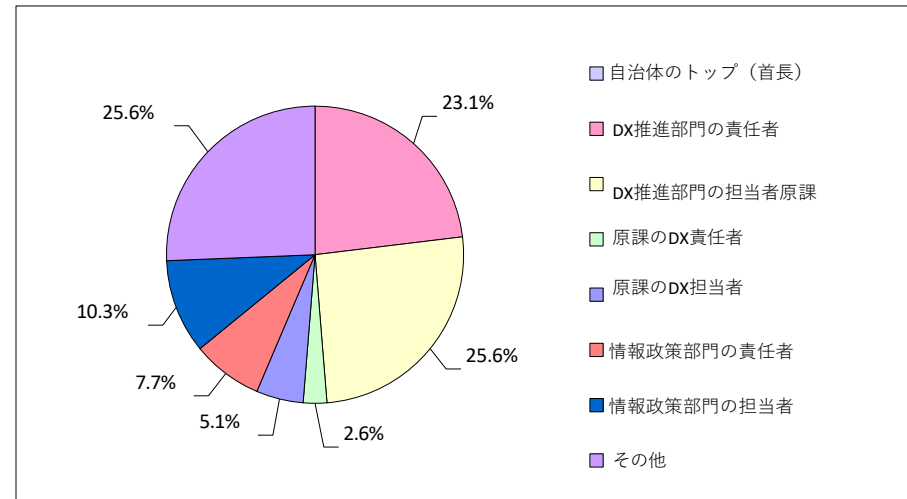


▶参加自治体：約7割が政令市や中核市などの市

	件数	%
都道府県	8	22.9%
政令市	1	2.9%
中核市	5	14.3%
その他の市	17	48.6%
区	0	0.0%
町村	3	8.6%
その他	1	2.9%
合計	35	

(N= 35)

▶職務上の役割：DX部門中心に様々な部門から参加



▶今までの参加回数：6割以上が初参加

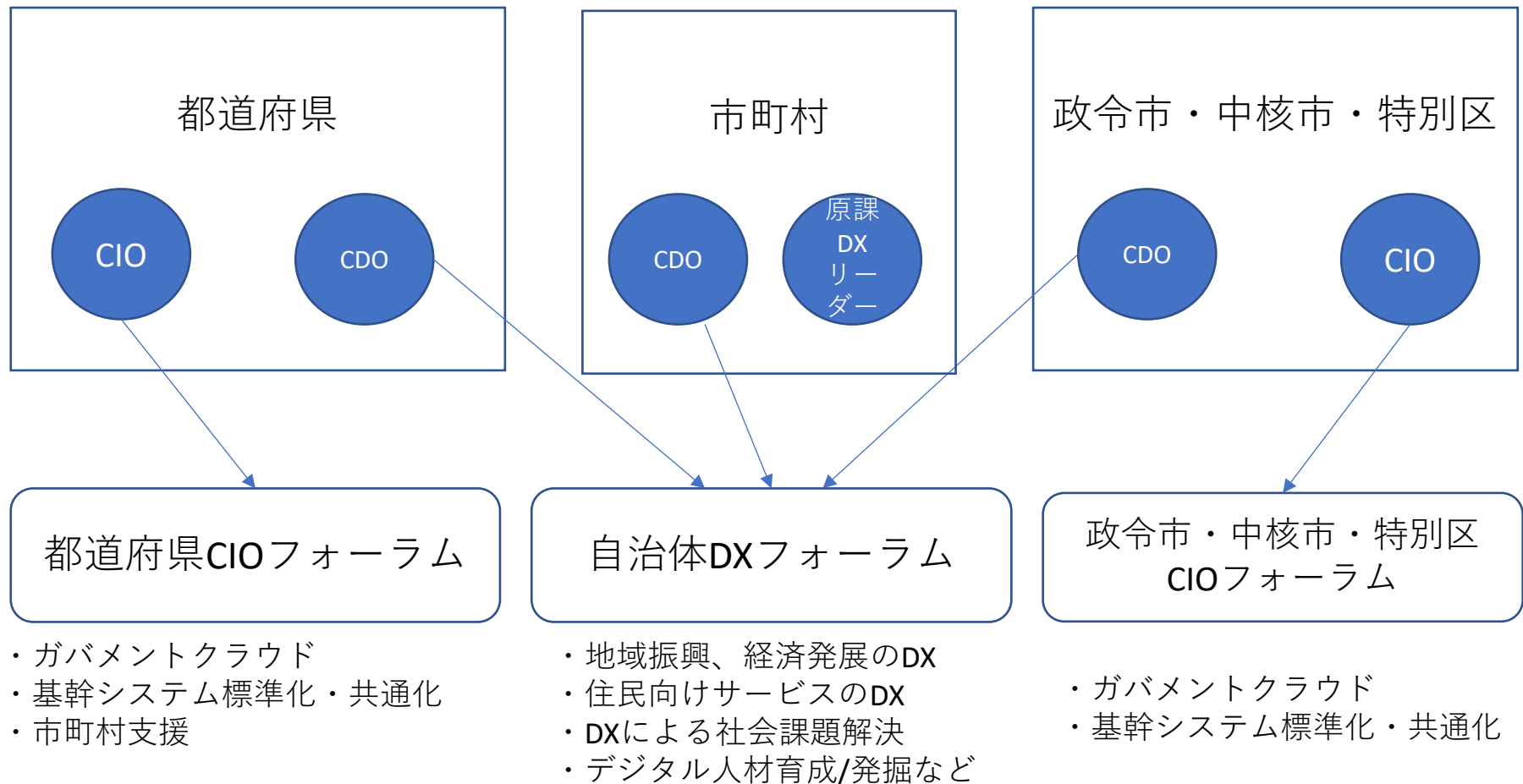
	件数	%
初めて	24	61.5%
2回目	5	12.8%
3回以上	10	25.6%
合計	39	

(N= 39)

参加者の声

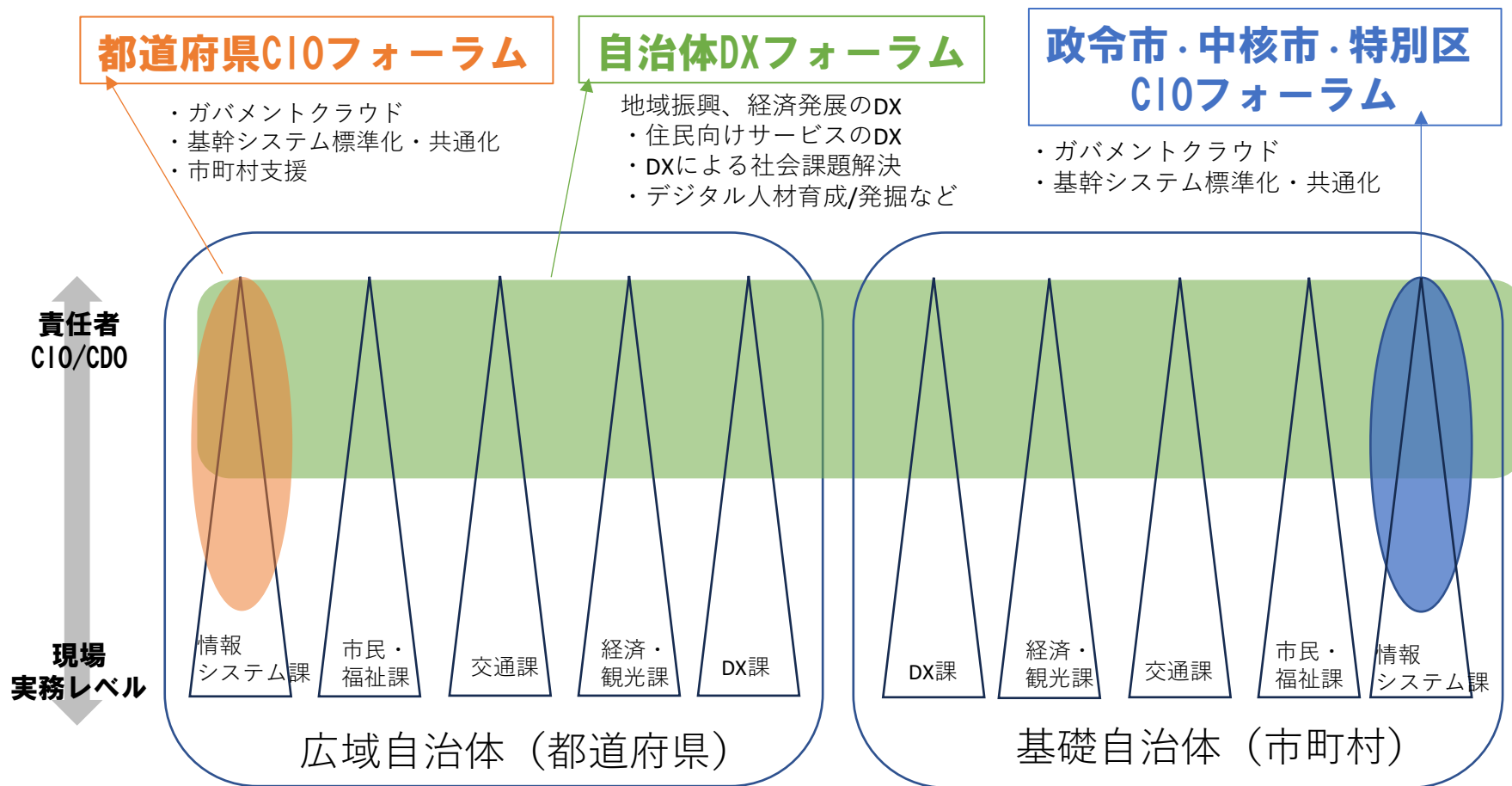
- 様々な分野のDXの取り組みや技術に関する話を聞くことができて、参考になりました。
- 元観光担当でしたので、大変興味を持って聞くことができました。
- 貴重な話をたくさん聞けて刺激になりました。
- 自治体には。様々な課題と対応策があるということが、改めて分かり、興味深かった。
- 色々な視点の討論を聞けて良かった
- 大勢の自治体職員と繋がれて、大変有意義だった。
- 全国の自治体の現場での取り組みを生の言葉で聞ける機会は貴重に思います。
引き続きこうした機会の場が必要に思いました。
- 宇和島さんの外には出せないデータが良かったです。
- 講演だけでは外向けの内容になってしまうので、パネルディスカッションで生々しい内容を引き出すスタイルは良い取り組みと思います。
- 書かない窓口を検討している中で他団体の取り組みを知ることができ、非常に参考になりました。
- 窓口DXを進めているので大変参考になりました。
- 徳島県の取組のスピードに圧倒されましたし、聞いていてワクワクしました。

日経BPガバメントテクノロジー・プロジェクト



会員活動（意見交換&ネットワーク＝顔が見える）

日経BPガバメントテクノロジー・プロジェクト



個人情報を提供する際の取り扱いルールについて

日経BPの個人情報保護方針/個人情報の取扱いについて

<http://corporate.nikkeibp.co.jp/info/privacy/>

日経BPでは顧客情報の提供にあたり、以下の内容を遵守していただくことを前提といたします。
是非、ご確認いただきますようお願い申し上げます。

1. 顧客情報の範囲

提供する顧客情報は、「氏名」「勤務先会社名」「勤務先部署名・役職名」「勤務先郵便番号」「勤務先(または自宅)住所」「勤務先(または自宅)電話番号」「勤務先(または自宅)FAX番号」「電子メールアドレス」「業種など」の登録された情報のなかで貴社が希望する項目とします。
「業種など」はイベント単位で異なる場合がありますので、事前に担当者までお問い合わせください。

2. 顧客情報の提供方法 顧客情報は「日経BP社 リードジェン支援システム」を使用してご提供いたします。

データの取得方法などは貴社ご担当者様宛に弊社からメールでご案内いたします。

問い合わせ先: 日経BP リード・サポートセンター(E-mail: lGsc02@nikkeibp.co.jp)

3. 顧客情報の利用目的 提供した顧客情報は、その元となった貴社主催または協賛セミナーの内容に関連した、貴社製品/サービスのご案内に限定してご利用ください。

4. 顧客情報の利用方法 提供した顧客情報を元に、最初に顧客に連絡を取る際には、「提供した顧客情報の元となった貴社主催または協賛のイベント名」「貴社名」「貴社の連絡先」「顧客情報の変更・削除および情報提供停止の方法」を必ず明示してください。

5. 提供した顧客情報の管理責任について 提供した顧客情報は「個人情報の保護に関する法律」などに基づいて貴社の責任において管理・運用願います。万が一、事故などで顧客または貴社に損害が生じた場合、弊社では一切の責任を負いかねます。